

## 編集後記

### 『10号』を記念して

この『研究誌』が10号になりました。全国看図アプローチ研究会が『研究誌』を出すことになって、ちょうど2年です。全国看図アプローチ研究会は、コロナの時期と重なったにもかかわらず日々実践し続けてくださっている皆様、新しい成果を発信してくださっている先生方に、心より御礼申し上げます。

今号が記念の『10号』になるので「特集」を組ませて頂きました。私（鹿内）は、現在は天使大学に所属していますが、その前は福岡女学院大学で学生指導にあたっていました。大学院開設のスタッフとして福岡女学院に着任したのですが、わずか2年半の在任で、私は北海道に戻ってしまいました。短い期間でしたが、看図アプローチを研究テーマにしたいという院生が3人も集まってくれました。今号はこの3人の「特集」です。

看図アプローチは看図作文の実践と研究が発展して生まれてきたものです。看図作文のルーツは中国にあります。仇志美さんは、鹿内らが開発してきた「新しい看図作文」を中国に逆輸入するという壮大な試みを実現させてくれました。

福永優子先生は、幼児教育についての長いキャリアをもっています。福永先生は、保育職を退職して福岡女学院大学大学院に進学してくれました。大学院進学後、福永先生は一貫して看図アプローチを幼児教育に活用する方法を探っています。まだ誰も探究したことのない領域のバイオニアになってくれています。

山下雅佳実先生は行動力とアイデアの人です。山下先生は看護師としてのキャリアを積んでいます。鹿内が福岡女学院大学に着任したとき、山下先生はすでに他の大学院に在籍していました。しかし、その大学院をパッとやめて、福岡女学院大学大学院に入り直してくれました。まさに「行動力の人」です。それ以来看図アプローチひとすじに実践と研究を重ねています。「専門は何ですか？」と尋ねると、「看図アプローチです」という答えが返ってきます。それほどに力を注いでくれている研究成果のひとつを掲載することができました。

『10号』が「鹿内信善教え子特集」となったことをうれしく思っています。すでに『11号』の編集にも取り掛かっています。皆様の力をお借りして、協同学習ツールとしての「看図アプローチ」をさらに発展させていきたいと思っています。

文責 鹿内信善

---

---

全国看図アプローチ研究会研究誌 10 号

---

発行年月日 2022 年 1 月 1 日

編 集 「全国看図アプローチ研究会研究誌」編集委員  
石田 ゆき  
伊藤 公紀  
鹿内 信善 \*  
萩尾耕太郎  
山下雅佳実  
渡辺 聰  
(\* 印は編集代表)

発 行 全国看図アプローチ研究会   
[kanzu-approach.com](http://kanzu-approach.com)

事務局長 山下雅佳実(中村学園大学短期大学部)

編集長・DTP 石田ゆき